

日農フォース粒剤

[テフルトリン粒剤]

農林水産省登録 第18313号

有効成分 テフルトリン…0.50%

性状 褐色細粒

系統販売のみ

安全性：劇物 危険物：- 有効年限：4年 包装：3kg×6 RACコード：殺虫[3A]

特長

- 土壌混和で防除できる合成ピレスロイド剤である。
- キスジノミハムシ、ネキリムシ類、コガネムシ類などの土壌害虫に高い効果を示す。
- 残効性に優れ、は種時または植付時の1回の施用で長期間害虫を防除できる。

効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
- うめに使用する場合は、収穫前にあらかじめネット等をはり、果実が処理土壌と直接触れないようにする。
- 本剤をだいこんの生育期に株元散布する場合、茎葉部がぬれていると付着した粒剤により局所的な枯れが生じることがあるため注意する。
- 間引き菜、つまみ菜に使用しない。
- ねぎに対して使用する場合で、生育期間中に土寄せをする栽培においては、ねぎ根部周辺に薬剤が届きやすい生育期前半の土寄せ前に使用する。
- 本剤をにらの収穫直後に株元散布する場合、ぬれた切断面に粒剤が付着すると、その後の展開葉に薬害を生じる場合があるので、切断面に粒剤が付着しないよう株の周りに散布する。付着した場合は散水等で粒剤を切断面から取り除く。
- 本剤をにらの生育期に株元散布する場合、茎葉部がぬれていると付着した粒剤により局所的な薬害が生じるおそれがあるため注意する。
- みずかけな（水掛菜）に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用する。また、使用后14日間は入水しない。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意する。誤って飲みこんだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 本剤による中毒の治療法としては、動物実験でメトカルバモール製剤または硫酸アトロピン製剤の投与が有効であると報告されている。

- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- のど、鼻、皮膚などを刺激する場合、また、かゆみを生じる場合があるので注意する。
- 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン長袖の作業衣などを着用する。また粉末を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼する。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- 施設内で使用する場合は、側窓、天窓を開け、十分換気を行う。

■ 水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼす恐れがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用する。養殖池周辺での使用は避ける。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないように適切に処理する。

適用内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テフルトリンを含む農薬の総使用回数
うめ	アカマダラケシキスイ	10kg/10a	収穫3日前まで	1回	全面土壌混和	1回
かんしょ	コガネムシ類幼虫 ハリガネムシ類	9kg/10a	植付前		全面土壌混和 又は作条土壌混和	
らっかせい	コガネムシ類幼虫		は種時		播溝土壌混和 又は全面土壌混和	
キャベツ はくさい ブロッコリー 茎ブロッコリー	ネキリムシ類	4kg/10a	定植時	1回	全面土壌混和	1回
非結球レタス レタス	ネキリムシ類 コオロギ類	9kg/10a	定植前			
ほうれんそう	ネキリムシ類 ホウレンソウケナガコナダニ		は種前			
はつかだいこん	キスジノミハムシ	6~9kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	2回以内 (は種時までの 処理は 1回以内、 は種後は 1回以内)
だいこん		4~9kg/10a				
		6kg/10a	収穫14日前まで	1回	株元散布	
	タネバエ	4kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	
かぶ	キスジノミハムシ	4kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	1回
非結球あぶらな科葉菜類 (からしなを除く)	ネキリムシ類 キスジノミハムシ		は種前			
からしな	ネキリムシ類 キスジノミハムシ ハクサイダニ					
にんじん	クロバネキノコバエ類	12kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	1回
		4~12kg/10a				
にんじん(葉)	ネキリムシ類	4kg/10a	は種時	1回	作条土壌混和	1回
ごぼう			は種前		全面土壌混和	
	は種時	全面土壌混和				
らっきょう	ネダニ類	9kg/10a	定植前	1回	植溝土壌混和	2回以内 (定植前の 処理は1回 以内、定植 後の処理は 1回以内)
		6~9kg/10a	収穫14日前まで	1回	株元散布	
にら	ネキリムシ類	4~9kg/10a	定植前	1回	全面土壌混和	
	ネダニ類	9kg/10a			植溝土壌混和	
			収穫14日前まで	1回	株元散布	

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テフルトリンを含む農薬の総使用回数
ねぎ	ネキリムシ類	4~9kg/10a	定植時	1回	作条土壤混和	2回以内 (定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は1回以内)
	ネダニ類 クロバネキノコバエ類	9kg/10a				
	クロバネキノコバエ類 ネダニ類		6~9kg/10a	収穫30日前まで	1回	
パセリ	ネキリムシ類	4kg/10a	は種時	1回	播溝土壤混和	1回
ザーサイ			定植時		植溝土壤混和 又は全面土壤混和	
			は種時		全面土壤混和	
しょうが	ネキリムシ類	6~9kg/10a	萌芽期		株元散布	
いちご	コガネムシ類幼虫	6kg/10a	植付時（仮植床）	1回	全面土壤混和	2回以内 (仮植床は1回以内、本圃は1回以内)
	ネキリムシ類		定植時	1回	作条土壤混和	
やまのいも	タネバエ	4kg/10a	植付時	1回	植溝土壤混和	1回
やまのいも（むかご）	ネキリムシ類	6kg/10a				
	タネバエ	4kg/10a				
さとうきび	ハリガネムシ類	6kg/10a	萌芽期		株元散布	
みしまさいこ	ネキリムシ類					
茶	ナガチャコガネ	9kg/10a	成虫飛来初期から ふ化幼虫期 但し、摘採7日前まで	1回	雨落ち部土壤混和	1回
つつじ類			コガネムシ類幼虫		植付時	

製品写真



最新の登録内容はこちら

